

- 1.適用範囲 この規格は、押出加工したアルミニウム及びアルミニウム合金の型材(以下、型材という。)について規定する。この規格は、JIS.H 4040及びJIS.H 4080に規定する断面形状と異なるもの全てに適用する。ただし、断面形状が四角形、長方形及び六角形の場合は、角の半径が指定されている形状に適用する。
- 4.合金番号,等級及び記号 合金番号,等級及び記号は,表1による。等級は,寸法の許容差によって,普通級と特殊級とに分類する。また,表1に規定する記号の後に質別を示す記号を付けて,製品記号とする。

表1 合金番号,等級及び記号

合金番号	等級及び記号		特性及び用途例(参考)
	普通級	特殊級	
6063	A6063S	A6063SS	代表的な押出用合金。6061より強度は低い,押出性に優れ,複雑な断面形状の型材が得られ,耐食性及び表面処理性もよい。サッシなどの建築用材,土木用材,家具,家電製品,車両用材など。

- 5.2 化学成分 型材の化学成分は,7.1によって試験を行い,表2による。

表2 化学成分

単位 %

合金番号	化 学 成 分 % (質量分率)											
	Si	Fe	Cu	Mn	Mg	Cr	Zn	V, Zr, Ni, Bなど	Ti	その他 ^{a)}		Al
										個々	合計	
6063	0.20～0.6	0.35以下	0.10以下	0.10以下	0.45～0.9	0.10以下	0.10以下	—	0.10以下	0.05以下	0.15以下	残部

注^{a)} "その他"とは,通常の分析過程において,規定の値を超えるおそれがある場合に,製造業者の判断によって分析する元素である。"その他"の"個々"は,表中に示されていない元素だけでなく,"—"で値を示していない元素も含まれる。また,"その他"の"合計"は,個々の値を合計したものである。

注^{b)} 受渡当事者間の協定によって, Zr+Ti は, 0.20%以下としてもよい。

注^{c)} 受渡当事者間の協定によって, Zr+Ti は, 0.25%以下としてもよい。

- 5.3 機械的性質 型材の機械的性質(引張強さ,耐力,伸び及び硬さ)は,7.2及び7.3によって試験を行い,表3及び表4による。

なお,表3及び表4に規定する試験箇所の断面形状の肉厚(以下,肉厚という。)及び断面積以外の寸法の機械的性質は,受渡当事者間の協定による。

表4 合金番号 6063 の機械的性質

合金番号	質別 ^{a)}	引 張 試 験					硬さ試験	
		試験箇所の肉厚 mm	引張強さ N/mm ²	耐 力 N/mm ²	伸 び % ^{b)}		試験箇所の肉厚 mm	HV5
					A _{50mm}	A		
6063	T 5 ^{d)}	12以下	150以上	110以上	8以上	7以上	0.8以上	58以上
		12を超え 25以下	145以上	105以上	8以上	7以上		

注記 1 N/mm² = 1 MPa

注^{d)} 質別 T 5 の機械的性質は,引張試験又は硬さ試験のいずれかによる。